

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01 北海道
市区町村名	01220士別市
自治体区分	中核市

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01220士別市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	協働活動サポーターの高齢化やサポーター数が十分でないことから、一人ひとりの負担が大きいです。	・地域限定サポーターを認め、地区公民館の広報紙などで広く募集する。 ・新規サポーターを対象にした研修会の開催。 ・市教研体育部会が企画運営する実技研修の支援。 ・学校とサポーターの共通認識のための事前学習会の開催。	学校へ協働活動サポーターの現状・課題を伝えながら、無理のないサポーターの支援環境づくりを行う。 技術的指導だけでなく、地域学校協働活動の目的でもある他者との交流などから、生徒、サポーターの相互の信頼関係構築を図る。	事後アンケートの「次年度もサポーターに協力してもらえるか」という問の肯定的意見の増加	事後アンケートでの次年度の協力意思の数値	90	%	100	85	02 本年度の目標値を下回り、取組の改善が求められる。 ・次年度に向けた協力依頼に対し、既存サポーターの多数から継続の意向を確認することができた。 ・新規サポーターの応募者はあったものの、高齢化の解消や不足人員の充足には至っておらず、次年度以降の体制維持及び新規確保が引き続きの課題である。	https://www.city.shibetsu.lg.jp/sos/hikikarasagasu/shakaikyoikuka/shakaikyoikukakari/4524.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。